

## CONTENTS

### 特集

#### 久育男先生 追悼アーカイブス


- Editorial ..... 梅崎俊郎 6
- Neuropeptide participation in canine laryngeal sensory innervation  
Immunohistochemistry and retrograde labeling  
(イヌの喉頭感覚神経における神経ペプチドの関与：  
免疫組織化学と逆行性標識) ..... 梅崎俊郎 9
- The localization of motoneurons innervating the canine pharyngeal  
constrictor muscles in the posterior larynx by the fluorescent  
double-labeling technique  
(蛍光二重標識法によるイヌ咽頭収縮筋を神経支配する運動ニューロンの局在)  
..... 椋代茂之 12
- Calcitonin gene-related peptide-like immunoreactive motoneurons  
innervating the canine inferior pharyngeal constrictor muscle  
(イヌの下咽頭収縮筋を神経支配するカルシトニン遺伝子関連ペプチド様  
免疫反応性運動ニューロン) ..... 杉山庸一郎 16
- 私の術式  
喉頭挙上術(甲状軟骨舌骨固定術)  ..... 二藤隆春 20
- 書評  
『はじめてのリハビリテーション 臨床倫理ポケットマニュアル』 ..... 唐帆健浩 24  
『Groher & Crary の嚥下障害の臨床マネジメント』原著第3版 ..... 柴本 勇 24
- 1枚の写真 ..... 宮川晋治, 他 25



## 日本嚥下医学会ロゴマークについて

日本嚥下医学会の英語表記 The Society of Swallowing and Dysphagia of Japan の4つの頭文字 SSDJ をとって燕(つばめ)をイメージしたデザインになっています。2つのSで翼をDとJで頭部と体部をイメージしています。洋の東西を問わず、嚥下することを燕が飲み込むさまを見て連想したのかもしれないという思いを馳せながらデザインしたものです。背景には人間の小宇宙を意味するとされる五芒星が配されています。(梅崎俊郎)

### 原著 論文

- 口腔癌術後患者の摂食嚥下時努力感について ..... 大森史隆, 他 28
- 食道癌術後患者に対する新しい食事基準の検討 ..... 中山靖規, 他 38
- 嚥下障害患者の経口摂取回復における兵頭スコアと  
観察項目の予測妥当性比較 ..... 大坪尚典, 他 46
- 食道癌周術期評価の経時的変化と経口摂取開始時期についての検討  
..... 新田京子, 他 55
- 延髄外側梗塞による嚥下障害に干渉波電流刺激が有効であった2例  ..... 中司梨江, 他 63

### 会告—— 1

日本嚥下医学会嚥下機能評価研修会のご案内—— 1

動画サイトのご案内—— 4

第47回日本嚥下医学会 総会 学術講演会プログラム集—— 71

日本嚥下医学会の認定する嚥下相談医等制度について—— 83

日本嚥下医学会認定嚥下相談医等制度運用規則—— 85

日本嚥下医学会認定 嚥下相談医・嚥下相談員一覧—— 87

投稿規定—— 91

バックナンバー—— 96

日本嚥下医学会入会申込書—— 98

日本嚥下医学会変更届—— 99

購読申込書—— 100

 : 動画配信付き